

第51回北洋研究シンポジウム 北海道周辺における赤潮の動態

日時：2022年9月19日（月）10:00-16:10

会場：北海道大学水産学部・オンライン ハイブリッド開催

コンピーナー：笠井亮秀・今井一郎（北大院水）

挨拶：木村伸吾（一般社団法人水産海洋学会長） 10:00-10:05

趣旨説明：笠井亮秀（北大院水） 10:05-10:10

座長：笠井亮秀（北大院水）

1. 赤潮の発生と対策 10:10-11:00
今井一郎（北大院水）

2. 2021年道東大規模有害赤潮による被害について 11:00-11:30
高嶋孝寛（道総研）・中川 工（北海道）

3. 2021年秋季道東の赤潮調査速報 11:30-12:00
飯田高大・山口 篤・松野孝平・芳村 毅（北大院水）

昼休み 12:00-13:00

座長：今井一郎（北大院水）

4. 2021年秋季道東赤潮原因種の形態と系統 13:00-13:30
岩滝光儀・桑田向陽・Lum Wai Mun・高橋和也（東大院農）

5. 2021年道東赤潮：物理的視点に基づく各種解析 13:30-14:00
黒田 寛・谷内 由貴子・高木聖実・東屋知範（水産機構資源研）

6. これまでの北海道における赤潮と南方種の拡大および2021年赤潮発生時の緊急モニタリング 14:00-14:30
宮園 章・嶋田 宏（道総研）・有馬大地・栗林貴範（道中央水試）・
安東祐太郎（釧路水試）・品田晃良（道さけます内水試）

休憩 14:30-14:40

7. 生物生態学的特性から*Karenia selliformis*赤潮の発生機構を考える 14:40-15:10
坂本節子・湯浅光貴・北辻さほ・紫加田 知幸（水産機構技術研）

8. *Karenia selliformis*の毒性と鉛直移動特性 15:10-15:40
紫加田 知幸・湯浅光貴・北辻さほ（水産機構技術研）・長谷川 夏樹・鶴沼辰哉
（水産機構資源研）・山崎康裕（水産機構水大校）・西楨俊之（北里大医）

【総合討論】 座長：笠井亮秀・今井一郎（北大院水）

9. シンポジウムのまとめ 15:40-16:10
笠井亮秀（北大院水）

開催趣旨：

2021年秋季、北海道東部太平洋沿岸で大規模な赤潮が発生した。この赤潮は、サケやウニ等の重要水産資源を死滅させるなど大きな漁業被害を及ぼし、その被害金額は80億円を超えると見積もられている。一方津軽海峡など道南地域では、南方起源の有害プランクトンが夏季を中心に観察されるようになり、生態系への影響が懸念されている。本シンポジウムでは、昨年度道東で発生した赤潮を中心に、これまでに明らかになってきた北海道周辺における赤潮の動態を取りまとめるとともに、今後地球温暖化に伴う水温の上昇が見込まれる中、低次生態系がどのように変化していくのか、赤潮による漁業被害を最小限に抑えるためにどのような対策をとるべきなのかについて議論する。